

平成二十七年 度

和歌山信愛高等学校

入学試験

国

語

(六〇分

一〇〇点)

受験上の注意

- 一 問題用紙は1～21ページまでです。
開始のチャイムが鳴ったら確認して始めなさい。
- 二 受験番号は、問題用紙と解答用紙の両方に書きなさい。
- 三 終了のチャイムが鳴ったら、問題用紙の上に解答用紙を
開いたまま裏返しておきなさい。

受験番号

〈解答は、句読点や記号も一字分と数えて記入すること。〉

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

わたしのところに、ときどき外国人の建築家が訪ねてくる。

そのおり「せっかく京都に来たのだから」と、どこかに案内しなければならぬことがしばしば起きるが、そういうときは、桜のころなら夜の平安神宮に、1 紅葉のころなら夕暮れの円通寺に案内することになっている。

平安神宮の西神苑の白虎池や東神苑の栖鳳池のまわりの桜が咲くときは、それらが池に映り込んでそれこそ圧巻だ。たいていの外国人は□をつぶす。

いっぽう京都の北、幡枝にある秋の円通寺は紅葉が美しい。しかし i そのボリウムは平安神宮の桜の何百分の一にも及ばない。ところがここには、もう一つ別のものがある。比叡山だ。円通寺の東を向いた客殿の縁に座ると、庭の真正面の深紅の紅葉の間から比叡山が ※聳然と姿をあらわす。とりわけ秋の夕暮れは西日に ii 映えて iii いつそう美しい。それを見たほとんどの外国人建築家は、ぼうとして声も iv ない。

円通寺の庭は「2 借景庭園」として知られる。

けっして大きい庭ではないが、庭一面が こけ、石でおおわれ、紅葉の木立があり、生垣のむこうには竹藪や ※灌木がおいしげっていて、さらにその先に比叡山が見える。つまり庭の景物だけでなしに外部世界の風物をも取り入れて一場の眺めとしている。

もちろんヨーロッパにだって宮殿からのすばらしい眺めなどはいっぱいある。□ I それらはいいてい一望千里のパノラミックな景観で、円通寺のように生垣や紅葉をはじめとする木立に切りとられて絵のように見せるというようなものほとんどない。

というのも、ヨーロッパ人は一般に樹木に対する関心がうすいからだろう。明治に日本に来て、古きよき日本文化を再発見したラファディオ・ハーンも日本の木立の美しさを絶賛し「それは日本人が木々を愛しているからだ」という。

たしかに欧米人の植物に対する関心のほとんどは花である。樹木のたまたまや生垣、刈込みのデザインなどといったものにはあまり興味を示さない。□ II ヨーロッパには山というものが少ないから、山もあまり関心をひかない。□ III 「庭内の樹木と庭

外の山などをあわせて一幅の絵にする」というような発想はなかなか起きてこないのである。

その結果、ここに庭の構成要素の中の「垣」³というものに対する東西の認識の差があらわれてくる。

というのは、ヨーロッパの庭の垣や塀は、たいてい外の世界と内の世界とを断絶する「壁」でしかない。垣のなかには鉄柵^{さく}というものもあるが、それらは容易に乗り越えられないように高くしてあるか、IVしばしば鋭い剣先が天を向いて、見る人をドキリとさせる。

ところが日本では、しばしば灌木で生垣をつくり、塀なども板塀やブロック塀などでなく土塀のように、庭の内と外の景観をつないで一つの風景にする、という大切な役割をもたせ、それによつて庭の狭さなどの解消にも役立たせている。

したがって垣や塀は日本の庭づくりにおいては景観の一部を構成するもので、たいへん重要なものである。江戸後期の俳人の小林一茶^{いちさ}もそういう美を見逃さなかった。

A 冬枯れや垣に結びこむ筑波山

この庭における垣の重要性を指摘したのは文学者の室生犀星^{むろうさいせい}であった。彼は庭には木や草を勝手に生やし、石も適当にころがし、^{つとむ}ておいて、ときおり庭に出てみると思いがけない草花や虫などを発見してびっくりすることのほうが楽しくなるという。「築山泉^{つとむ}水庭より雑木雑草庭」というわけだ。「人工的な庭より野のほうがすばらしい」というのである。

ただその場合、草や木にはあまり手を入れないが垣だけはしっかりとしたものにする。垣さえ整っていれば庭のなかは少々乱雑でも見ていて安心だ。その垣を媒介にして庭の草木と外界の景観とが一体になった風景、つまり「借景の庭」をつくることもできる。「しっかりとした垣と雑木雑草が究極の庭づくり」というわけだ。

そういう思想を 4 円通寺の庭は実践している。

じつさい円通寺の庭は、ところどころ地肌が見えるような自然な苔庭に、わずかに石組みと刈込みを置いたものだ。ただそれととりまく生垣は何十種類という灌木を集めて刈り込んだ「雑垣」である。だから季節季節にいろいろの花が咲く。人は思いがけないときに思いがけない花を見つけて喜ぶ。

円通寺の庭は、雑木雑草にくわえて「雑垣の庭」といっていいだろう。

しかしそれにしても ⁵なぜ雑木雑草庭がいいのか？ なぜ雑垣の庭がいいのだろうか？

それは先に述べたように、計画されたものどちがって雑木雑草庭には思いがけない発見があるからだ。それもたいてい小さな生物の発見である。小さな生物が一生懸命生きている姿を見つけて人は感動する。

それはいいかえると「中自然」というものの発見と比べていい。中自然とはわたしの造語だが、それはこういうことだ。

自然のうちの大自然は、北極や砂漠、高山や大海といった、おいそれとは人間が近寄れぬ、また人間の力の及ばぬ世界である。竜巻や台風、地震や火山といった自然現象もこれに入る。そういう世界に身を置いたとき、これだけ科学技術が発達していても人間はそれら大自然の威力の前にはただ小さくなるだけだ。それは人間に立ちあはだかる「a」のような自然」である。

いっぽう小自然は、植木鉢の花、金魚鉢の金魚、鳥籠^{かご}の鳥である。イヌやネコも、ウシやウマも、動物園のライオンやゾウも、田畑の作物や公園の草木も、山のスギ林などもみなこれに入る。つまりそれらはどんなに大きくても人間がやんでいるもの。人間の手を離れては生きていけないものである。いわば人間のためのペット、あるいは「b」のような自然」なのだ。

しかし、この世界には大自然でも小自然でもないものがいっぱいある。空飛ぶ鳥、木に鳴くセミ、地を這^はう虫、川を泳ぐ魚、山に棲^すむイノシシ、それに野の雑草、丘の雑木林、深山の原生林などである。それらはどんなに小さくても、またかよわくても、人間が飼っているものではない。人間の世話にはなっていない。ひとりで勝手に生きているものたちである。人間にとってはいわば「c」のような自然」だ。それをわたしは中自然とよぶ。

とすると、わたしたちがふつう自然というとき、このうちのどの自然をさすのか？

たとえば大自然は「a」のように恐ろしく、日常あまり親しい存在ではない。

また中自然は「c」だ。しばしば人間とテリトリーを奪い合う。人間は林を伐採し、池を埋め立て、鳥やタヌキなどのすみかをつぶし、野を道路や宅地に変えて虫たちを追いや出す。人間の歴史はそういった中自然世界の「破壊の歴史」といいいい。

そして多くの人間は、都市のコンクリート・マンションの中で「自然がない」といってテーブルに花をかざり、植木鉢に水をや

り、イヌやネコをかわいがり、しばし心をいやす。いわば「ペット」や「b」のような小自然が人間にとってかけがえのない自然なのである。

といっても、わたしは別に小自然を攻撃しているのでも、否定しているのでもない。それは人間にとって必要なものである。問題は中自然をないがしろにすることだ。

そこでもつと中自然を見直すことを考えたい。一生懸命地面で働いているアリたちに、コンクリートの割れ目からたくましく芽を吹き出す雑草などに「お互いこの住みにくい世によくぞ生きているなあ」という思いやりをなげかける心の余裕をもちたい。たとえそのあとすぐにアリをつぶし、雑草を引き抜かなければならないとしても、である。自然のよき理解者である先の一茶もいつている。

B 蠅^{はえ}一つ打つてはなむあみだぶつかな

このごろの日本人の自然に対する関心の高まり、すなわち里山や鎮守の森、あるいはコンクリート護岸化されていないような「里川」や「里海」に対する注目は、そういったいわば「中自然回帰」を示すものではないか？

(上田 篤^{あつし}『庭と日本人』より)

注 ※ 聳然 … 高くそびえるさま。

※ 灌木 … 背丈の低い木。

問一 〓線部 i~iv の品詞名を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア	名詞	イ	代名詞	ウ	動詞	エ	形容詞	オ	形容動詞
カ	連体詞	キ	副詞	ク	接続詞	ケ	助動詞	コ	助詞

問二 〓線部 1 「紅葉のころなら夕暮れの円通寺に案内することになっている」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 円通寺は紅葉だけでなく苔や石などたくさんの見所があるから。
- イ 紅葉で色づいた比叡山が西日に映えてたいへん美しく見えるから。
- ウ 円通寺の紅葉とその間から見える比叡山が西日を受けて美しいから。
- エ 比叡山のふもとにある円通寺は紅葉がきれいに色づいているから。
- オ 円通寺の紅葉は平安神宮の桜と並んで有名な観光名所だから。

問三 本文中の に当てはまる漢字一字を答えなさい。

問四 ——— 線部2 「借景庭園」について説明した次の文の「①」、「②」に当てはまる言葉を、解答欄の字数に合わせてそれぞれ本文中から抜き出して、答えなさい。

「①」にあるものだけではなく「②」にあるものも合わせて一つの景観としている庭園。

問五 本文中の I IV に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア あるいは イ さらに ウ たとえば エ したがって オ しかし

問六 ——— 線部3 『垣』というものに対する東西の認識の差」とあるが、「東」と「西」ではそれぞれ「垣」をどのようなものだと考えているか。本文中の言葉を使って六十字以内で説明しなさい。

問七 本文中A、Bの俳句の中から、切れ字をそれぞれ抜き出して答えなさい。

問八 ——— 線部4 「円通寺の庭」の説明として、正しいものには○、間違ったものには×をつけなさい。

ア 垣も庭も隅々まで手が入れられている。

イ 自然な苔の庭に石組みや刈込みを置いている。

ウ 立派な板塀やブロック塀で庭が囲まれている。

エ 草や木にはまったく手を入れず荒れ放題である。

オ 灌木で作られた垣には季節の花が咲く。

問九 ——— 線部5 「なぜ雑木雑草庭がいいのか？ なぜ雑垣の庭がいいのだろうか？」とあるが、筆者はその理由をどのように考

えているか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 庭に生きる小さな生物を見つけ、自然に近い環境でやしない育てることができるから。

イ 都市に生きる人間にとって、唯一自然を感じることでできるいやしの場になるから。

ウ 人間の手を借りずにたくましく生きる小さな生物を見つけ、楽しむことができるから。

エ 人間の力が及ばない山や川を庭に取り入れることで、大自然を感じることができるから。

オ 自然を破壊してきた人間の歴史を反省し、自然との共存を理想的な姿であらわしているから。

問十 本文中の

a

c

 に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア	a	神	b	恋人	c	他人
イ	a	神	b	下僕 <small>しもべ</small>	c	他人
ウ	a	神	b	下僕	c	友達
エ	a	母	b	下僕	c	友達
オ	a	母	b	恋人	c	他人
カ	a	母	b	恋人	c	友達

問十一 本文の内容と合致するものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア ヨーロッパ人は、植物について花には関心を寄せるが、樹木そのものにはあまり関心を示さない。
- イ 小林一茶と室生犀星は、日本の庭や垣にひそむ美に注目し、古きよき日本文化を再発見した。
- ウ 「借景庭園」は日本独自のものであり、庭の狭さを解消するために考案されたものである。
- エ 近年関心が高まっている「里山」のような自然を大事にし、その意義を見直すべきである。
- オ 日本人は、自然のままの雑木雑草庭よりも、手の込んだ人工的な築山泉水庭を尊重してきた。
- カ 人間の手によって維持される公園の草木は、人間に従属している点で本当の自然とはいえない。

【二】 次の文章は、松岡圭祐の『ミッキーマウスの憂鬱』の一節である。主人公の後藤大輔は、デイズニールランドで働くことを希望して、採用試験を受けた。以下は、「ジヤングル・クルーズ」というアトラクションでの実技試験を終えた後、面接を受けるために、デイズニールランドを運営する会社を訪れる場面である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

女性社員が、後藤に紹介した。「こちらは早瀬課長、そしてその隣りが錦野課長」

すかさず後藤は頭をさげた。「後藤です。よろしくお願ひします」

「ま、顔をあげてください」錦野は口もとをゆがめたままいった。「ええと、後藤大輔君。二十一歳。高卒だね？」

「はい。岐阜県立柄島高等学校卒業です」

「すると、いまは上京して独り暮らし？ 定職についたことは？」

「ええと、そのう」¹ 思わず言葉に詰まる。後藤は咳ばらいした。「ずっとフリーター勤めで……」

「ああ、專業準社員ね」錦野は笑って後藤を見た。

後藤はさらなる安堵を覚えた。フリーアルバイターであることをとがめるような姿勢は、ここにはないらしい。むしろ歓迎されている、そんなふうに感じられた。

ところが、早瀬のほうは微笑を保ちつつも、やや² 棘のある口調でいった。「ひとつ確認しておきたいんだがね、後藤君。ミッキーマウスのなかには、人など入っていないよ」

困惑が後藤のなかにひろがった。思わず苦笑を浮かべてみせる。早瀬も笑いで答えたが、目は真剣だった。

いっそう戸惑いが深まる。デイズニールランドでは、園内に存在するすべてを現実とみなすことが鉄則になっている、そうきいた。ゲストの前では、ミッキーマウスは実物のキャラクターだと主張せねばならない。

だが、裏でもそうなのだろうか。まさかキャスト同士でも、ミッキーマウスは人間の大きさのネズミだと信じて対話せねばならないというのか。

いや、そんなことは信じられない。後藤は緊張のあまり、混乱しつつある思考のなかでかろうじて結論をだした。あれは着ぐるみだ。まさかデイズニールランドに長年勤めあげている大のおとなが、ずっとだまされつづけていたわけではあるまい。

「あとう」後藤はいった。「あれは着ぐるみだと思えますけど」

錦野がかすかに苛立ちをのぞかせた。「そんなことはわかってるよ」

ようやく後藤は、「ジャングル・クルーズ」での自分の失態を責められているのだと気づいた。自分はミッキーとミニーについて、着ぐるみだとこぼしてしまった。あろうことかゲストの面前で。そのことを叱咤されているのだ。

「あ、ええと、すみません」後藤は弱々しいつぶやきを漏らした。「ついうっかり、着ぐるみだなんていっちゃって」

早瀬はため息をついた。「オンステージだけじゃなく、通勤中も気をつけてね。電車のなかで友達と、ミッキーの着ぐるみについて話したりしないように。バックステージのことは極秘だ。わかるね」

「はい。でも、あの……。オンステージって？ 舞台の上ってことですか」

ふたりのスーツの男は³顔を見合わせた。さすがに笑顔も薄らぎつつある。

錦野が後藤に向き直ってたずねてきた。「インパークしたことないの？」

「インパーク？」

「つまり、ゲストとしてデイズニールランドに来たことはないの？」

「ありません。でもショーはあまり見たことが……」

早瀬が後藤の言葉を制していった。「デイズニールランドは遊園地ではなく、体感する映画とも呼ぶべきテーマパークなんだよ。そこで働く人々はすべて役割を演じていて、だから^a従業員は全員出演者と呼ばれ、訪問客はゲストと呼ぶ。^bゲストの目に触れるところはぜんぶオンステージ。そうでない裏舞台がバックステージ。^cオンステージではキャストは常に演技をつづけている。

食堂で働こうが掃除係だろうが、彼らは演技者だ。あなたがキャストになるのなら、⁴そこをまず理解せねばならない。もちろん準社員を辞めたあとも、^dゲストの夢を壊すようなことを口外してはならない」

「自衛隊みたいですねえ、辞めたあとも秘密厳守なんて」後藤は みずからの緊張をほぐすべく、冗談めかせていった。 錦野は怪訝な顔で早瀬をみた。「でも後藤君は、バックステージを通ってここまで来たんだろ？」

いえ、と女性社員が告げた。「オンステージからゲスト用の出口をでて、外をまわって本社にお連れしてます。準社員候補はまだ、バックステージに入れないので」

「ああ、そうだったね」錦野はとぼけたような顔をした。「しかし、オンステージにバックステージなんて用語はもう常識だと思つてたけど。よく本社が採用してくれたね」

早瀬がささやいた。「派遣です」

「あ、派遣か」錦野は指先で額をかいた。「派遣つてことは、広告にデイズニーランドとは明記してなかっただろう？ うちの募集だつてことには気づいてたのかな？」

「ええ、もちろんです」後藤は胸を張った。「舞浜の超巨大テーマパーク、ショーおよびパレードのスタッフ募集とありましたから。こちら以外にはありえないと思つてました」

「どうして東京デイズニーランドで働きたいと思つたの？」

「はい！ 話せば長くなりますが」

早瀬が口をはさんだ。「手短かに」

「6……はい。ええと、僕はこれまでいろいろなアルバイトを経験してきましたが、どれも単調つていうか、夢がないつていうか。毎日くたくたになるまで働いても、感謝されることはごくわずかで。そんな折、『フラインディング・ニモ』を観みまして。そうか、デイズニーつて素晴らしいなあと思ひまして。クマノミも飼つたんですよ。当時は大ブームでどのペットショップも売りきれて、似た色の金魚ならあるつていわれたんですけど……」

「もういいや」錦野が片手をあげて制した。「時給は八百円だけど、それについて ①イギはない？」

八百円。後藤のなかに暗雲が渦巻いた。「高校生は八百円で、一般は九百円だときいてましたが……」

「それ、何年か前の話なんだよね。いまは八百円」

早瀬はじれったそうに錦野にささやいた。「彼の場合は派遣だから……」

「ああそうか、派遣だったね」錦野は飄々とした口調でいった。「じゃ、金銭面のことは派遣会社にきいてよ。で、どうしようかな。あの調子じゃ、アトラクションのキヤストってわけにはいかないだろうし……」

自己アピールの機会だ。後藤はにこやかな表情をつとめながら声を張った。「僕、高校時代には演劇にも興味がありました。部活は野球部だったんですけど、同級生に頼まれて演劇部の舞台に立ったことが……」

「いや、それはいいんだよ」錦野は ⁷ あからさまに嫌悪する顔を一瞬浮かべると、^② リレキ書に見いった。「明るいところはいいんだけどなあ。ちょっと口数が多すぎる気もするし」

しばらく沈黙の時間が流れたのち、早瀬がぼそりといった。「うちのほうで二課の頭数が足りないことは足りないんですが……」

「そっか」錦野の顔に笑いが戻った。「派遣だしね。＊ビソープのほうで ^③ メンドウをみてくれるかな。それが一番いいと思う」
ヴィソープ。後藤の耳にはそうきこえた。何語だろう。なにやら格好よさそうな名称ではある。

「じゃ」早瀬が後藤をみていった。「来週火曜から出勤頼むよ。それまでに床屋にいつて、デイズニールックにしてくるように」
「デイズニールック？」

「男のキヤストの場合、髪は耳にかからないようにすること。染めないこと」

後藤の髪はかなり伸びていた。美容室にも先週いったばかりだ。流行りのカットにまとめたつもりだが、ばっさり切らねばならない。まるで中学生のころの校則だった。

だが、と後藤は姿勢を正した。とにかくデイズニールランドに ^④ コヨウされた。これが嬉しくないはずがない。
高鳴る胸をおさえながら後藤は深くおじぎをした。「ありがとうございます。来週からよろしくお願いします」

錦野が早瀬を指差していった。「スーパーバイザーの早瀬君がきみの上司になるからね。なんでも聞くといい」

スーパーバイザー。ヴィソープ。やる気の出ってくる役職名や部署名が次々と ^⑤ ヒロウされる。同じアルバイトでも、事務窓口や

ホール係、レジ係、営業手伝いと呼ばれていた職業とは格段の開きがある。

ふと気になって、後藤はたずねた。「僕の役職名は、どういうものになるのでしょうか」

そうね、と早瀬が天井を⑥アオいだ。「キャラクターイシューを務めてもらうことになるかな。ま、やるからにはすぐ辞めたりせずに、長く続けてね」

後藤は興奮していた。キャラクターイシュー。これまた良さげな音の響きを持つ肩書だ。ディズニーといえばキャラクター。ひよっとしたら、キャラクターを演じたり演技指導をおこなったりする立場かも知れない。

「頑張ります」後藤は力強くいつて、もういちど頭をさげた。

ついに夢と魔法の王国にデビューだ。まさに全身で歓喜したい欲求に駆られていた。希望が叶った。日本で最も注目度の高いこの職場で働ける日が来るなんて、信じがたい快挙だ。なんと光栄なことだろう。

長く続けてね、スーパーバイザーの早瀬なる人物はそういった。誰が辞めたりするというのだろう。誰がこの夢溢れる職場を離れようなどと考えるのだろうか。

注 ※ ビソープ：美装部。

問一 〓 線部①く⑥のカタカナをそれぞれ漢字に直しなさい。

問二 ―― 線部 1 「思わず言葉に詰まる」とあるが、後藤はなぜ「言葉に詰ま」ったのか。本文中の言葉を使って、四十字以内で説明しなさい。

問三 ―― 線部 2 「棘のある口調」とあるが、早瀬が「棘のある口調」になったのはなぜだと考えられるか。ここより後の文章を読んで答えなさい。

問四 ―― 線部 3 「顔を見合わせた」とあるが、その時の「ふたりのスーツの男」はどのような気持ちだったと考えられるか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 後藤の弱々しい態度に苛立つ気持ち。
- イ 後藤の無知にあきれる気持ち。
- ウ 後藤のうかつさを非難する気持ち。
- エ 後藤の英語力のなさに驚く気持ち。
- オ 後藤の素直さを痛々しく思う気持ち。

問五 ―― 線部 4 「そこ」の指す内容として最も適当な部分を~~~~~線部 a ~ d の中から選び、記号で答えなさい。

問六 —— 線部5 「みずからの緊張」の内容として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 熱弁を振るう早瀬の勢いに圧おされ、その熱意に応こたえられるかという不安からくる緊張。
- イ ここで働くことになれば、早瀬たちにいじめられるのではないかというおびえからくる緊張。
- ウ 想像していた以上の厳しいレベルで仕事をすることを要求されたことに対する緊張。
- エ 英語の単語がいろいろと出てきたので、やはり英語力は必要だという焦あせりからくる緊張。
- オ 面接の圧迫感に耐えかね、このままでは不合格になってしまうかもしれないという緊張。

問七 —— 線部6 「……はい。」とあるが、この場面での後藤の状況を表した言葉として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 尻馬しりに乗る
- イ 狐きつねにつままれる
- ウ 出鼻あせをくじかれる
- エ 泡を食う
- オ 袋のねずみ

問八 ――線部7「あからさまに嫌悪する顔」とあるが、錦野が後藤を嫌悪しているのはなぜだと考えられるか。その説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 場の気まづい雰囲気はどうにか取り繕おうと、後藤が必死になっているから。

イ 後藤の言葉がしどろもどろで、自分に何を伝えようとしているのか分からないから。

ウ 演劇部の舞台に立ったことがある程度では、キャストは務まらないと考えているから。

エ 会社側は求めしていないのに、後藤が見当違いの自己アピールをしてきたから。

オ 働けるだけでもありがたいことなのに、後藤が時給の安さに不満をぶつけてきたから。

問九 本文の内容と特徴の説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 主人公の後藤を中心に、会社側の人物の心情をそれぞれの視点に立って詳細に描くことで、後藤をめぐる人間模様が鮮やかに浮かび上がってくる。

イ 後藤の従業員としての資質に不信感を持つ会社側の人物と、空回りしつつもひたむきな後藤とを対比させることで、両者の間に生じる温度差が強調されている。

ウ 「キャラクターイシュー」という、聞こえのいい肩書きをもらったことで意欲的になる後藤を描くことにより、後藤の今後の華々しい活躍が暗示されている。

エ ばかにされてもあきらめられても、前向きに積極的に就職活動を行う後藤の姿を通して、厳しい現代社会に生きる若者の理想的な姿が表現されている。

オ　華やかなオンステージの裏にあるスタッフの過酷な労働環境を描くことによって、テーマパークを支えている会社側の人間の日々の努力の大変さが強調されている。

【三】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

盤珪^{ばんけい}※禅師、播磨^{はりま}にて※結制のとき、僧徒数百人來たり集まりゐたりしに、その中に※賊僧ありて、誰も※銀子^{ぎんす}を失ひし、何某^{なにがし}も衣服を盗まれしなど、毎日失せ物ありて、人々疑ひあひて難儀に及びしが、後には賊をなせる僧、大方のものに知らなければ、僧徒みな禅師に申して賊僧をとく追放せんと願ひけるに、禅師聞きてそのままに捨ておかれしかば、数日の後、僧徒また¹このことを禅師に訴ふ。禅師^アなほ^アそのままに差し置かれし。

2 かくのごときこと、何度にも及びて、なほそのままになりなければ、

a 大きに腹を立て、「もし

b を追ひ払ふこ

- 18 -

とならずんば、c「一人も残らず退散すべし」と言ひしに、禅師笑ひて、「³退散したくば、勝手たるべし。悟道善行の僧

は教ふるに及ばず。この結制も^イさやうなる悪心の者を教へさとさんためなれば、悪僧なればとてみだりに追放すべからず」と言はれしに、⁴衆僧大きに感服しぬ。かの賊僧もこれを伝へ聞きて深く感じ、座中に出でて賊をせしことどもを自ら懺悔^{ざんげ}して前非をあらため、徳行堅固の僧となりしとぞ。

注 ※ 禅師：徳の高い僧侶。

※ 結制：僧が夏の三カ月間、外出せずに座禅などの修行を行うこと。

※ 賊僧：盗みをする僧侶。

※ 銀子：お金。

問一 ——— 線部1 「このこと」の指す内容を本文中から十字以内で抜き出し、解答欄の「〜ということ」につながるように答え

なさい。

問二 ~~~~~ 線部ア 「なほ」、イ 「さやうなる」を現代仮名遣いに直しなさい。

問三 ——— 線部2 「かくのごときこと」の内容として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 僧徒たちが集まって結制に参加すること。

イ 僧徒たちの物やお金がなくなるということ。

ウ 僧徒たちがお互い疑心暗鬼になるということ。

エ 僧徒たちが禅師に自分たちの願いを訴えること。

オ 僧徒たちの訴えを禅師が聞き入れないこと。

問四 本文中の a ㄣ c に当てはまる言葉として適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度使ってもよい。

ア 禅師 イ 賊僧 ウ 衆僧（僧徒）

問五 ——— 線部3 「退散したくば、勝手たるべし」の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 立ち去りたいなら、思うままに立ち去るがよい。
- イ 立ち去りたくとも、勝手なことをしてはいけない。
- ウ 立ち去れるならば、これからは自由になるだろう。
- エ 立ち去るためには、偉そうなことを言っではいけない。
- オ 立ち去ったので、わがままだと思われてもしかたがない。

問六 ——— 線部4 「衆僧大きに感服しぬ」を現代語訳しなさい。

問七 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア せっかく行われた結制であったが、どさくさに紛れて盗みをはたらく者が続出した。
- イ 盤珪禅師は、盗みを働いた僧を追い出すどころか、その行いを正当化してかばった。
- ウ 賊僧は、盤珪禅師の慈悲深い計らいに感謝して、これまでの自分の行いを悔い改めた。
- エ 数百人の僧が集まって修行したにもかかわらず、徳の高い僧になれたのは一人だけであった。
- オ 毎日のように物が盗まれるので、だれ一人として悟りを開くことはできなかった。

【一】

問一	i
問二	ii
問三	iii
問四	iv

問二	
問三	
問四	①
問五	②
問六	
問七	
問八	
問九	
問十	
問十一	

問一	I
問二	II
問三	III
問四	IV

問六			
問七			
問八			
問九			
問十			
問十一			
問十二			
問十三			
問十四			
問十五			
問十六			
問十七			
問十八			
問十九			
問二十			

問七	A
問八	B
問九	ア
問十	イ
問十一	ウ
問十二	エ
問十三	オ

問九	
問十	
問十一	

【二】

問一	④	①
問二	⑤	②
問三	⑥	③
問四	い	だ

問二		
問三		
問四		
問五		
問六		
問七		
問八		
問九		
問十		
問十一		
問十二		
問十三		
問十四		
問十五		
問十六		
問十七		
問十八		
問十九		
問二十		

問三	
問四	
問五	
問六	
問七	
問八	
問九	
問十	
問十一	
問十二	
問十三	
問十四	
問十五	
問十六	
問十七	
問十八	
問十九	
問二十	

問四	
問五	
問六	
問七	
問八	
問九	

【三】

問一	
問二	
問三	
問四	
問五	
問六	
問七	
問八	
問九	
問十	
問十一	
問十二	
問十三	
問十四	
問十五	
問十六	
問十七	
問十八	
問十九	
問二十	

問二	ア
問三	イ

問四	a
問五	b
問六	c

問六	
問七	

ということ。

【一】 (45点)

問一 i カ ii ウ iii キ iv ケ 1点×4

問二 ウ 2点 問三 肝 2点 問四 ① 庭 ② 外部世界 2点×2

問五 I オ II イ III エ IV ア 2点×4

問六 のるヨ 景ー | 観壁ロ をつでパ ながあで ぐるとは かもと外 の考の であえ、世 本日と 考で の えては庭界 いての内断 いる。と絶 外す 6点

問七 A や B かな ×2 問八 ア × イ ○ ウ × エ × オ ○ 1点×5

問九 ウ 3点 問十 イ 3点 問十一 ア エ 3点×2 (順不同)

【二】 (38点)

問一 ④ 雇用 ⑤ 披露 ⑥ 仰いだ 2点×6 ① 異議 ② 履歴 ③ 面倒

問二 言ず うちとと がめられ ると 思っ たか ら。 を正 直に 4点

問三 後藤が、ゲストの面前でミッキーとミニーが着ぐるみであることを話してしまったから。 4点

問四 イ 3点 問五 c 3点 問六 ウ 3点

問七 ウ 2点 問八 エ 3点 問九 イ 4点

【三】 (17点)

問一 賊僧をとく追放せん ということ。 2点

問二 ア なお イ さようなる ×2 問三 オ 2点

問四 a ウ b イ c ウ ×3 問五 ア 2点

問六 僧侶たちは、たいそう深く感じ入って敬服した。 3点 問七 ウ 3点

Blank box for student number